教育広報

かけはし

第44号　平成12年5月31日発行
千代田区教育委員会

壮大な正倉院に見守られて（今川中）

主な記事

☆特色ある学校教育の創造を目指して
——平成12年度はじまる——
千代田区教育委員会の教育目標（概要）
☆中学校教育検討会
「これからの中学校教育についての意見を聴く会」が開催されました。
☆給食のあり方検討会から報告書提出

授業で習った建築物を目のあたりにして、そのすぐれた技術と美しさに感動しました。

＊教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

特色ある学校教育の創造を目指して
―― 平成12年度 はじまる ――

千代田区教育委員会の教育目標（概要）

千代田区教育委員会は、教育基本法に則り、千代田区の教育の歴史と伝統を継承・発展させ、心身ともに健康で千代田区に誇りと愛着をもつ人間性豊かな区民の育成を目指します。そのため、社会の変化に対応しつつ、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図り、もって、普遍的でしかも個性的な文化の創造と豊かな社会の形成に貢献することを期して、次の視点を基本として、本区の教育を推進します。

1. 本区における少子高齢化、高度情報通信化、国際化など、社会の急激な変化の中、特別区は、本年4月から都区制度改革により自立した基礎的な地方公共団体となる変革の年であり、まさに時代の転換期を迎えています。このような社会状況を踏まえ区民の多様な学習意欲に対応し、家庭や地域社会とも密接な連携を図り、学校教育や社会教育を充実し、区民の生涯にわたる学習環境の整備を図ります。

2. 学校教育においては、子どもたちが、自他の生命を尊び、心身ともに健全で、社会連帯意識をもち、信頼と尊敬の得られる区民として成長することを願い、生涯学習の基礎を培います。
　とりわけ、特色ある学校教育の創造を目指し、時代の変化に即した教育内容・教育環境の一層の充実を図ります。

3. 区民が自己実現と生きがいのある社会生活を営むため、区民の多様な学習意欲に応えることのできる諸施策の推進を図ります。
　また、今後とも生涯学習施設の充実を図り、文化・スポーツ活動を含む学習活動の機会や場の提供をより一層進めます。

教育委員紹介

三月三十一日付で、教育委員会は左記の構成になりました。
教育分野の諸施策に一丸となって取り組んでまいります。

教育委員長
曽根史子

教育委員長職務代理
石川晴彦

教育委員
横山安宏

教育委員
栗岩英雄

教育委員（教育長）
井澤一弘

入学・進級

四月に入学式・入園式が行われ、新しいお友だちが仲間入りしました。在校・園の子どもたちと一緒に新しい環境の中で、元気いっぱい過ごしています。

平成12年度 学級数・在籍者数

平成12年5月1日現在

区　分	全学級数	新入生数	前年度比	在籍者数	前年度比
幼稚園	28	152	26	464	46
小学校	85	363	△30	2,405	△64
中学校	37	397	△9	1,239	△71

教育予算

総額　五八億九、九八六万円

三月の区議会定例会で議決された平成十二年度当初予算のうち子どもたちの学習に関連のある教育予算の主なものを紹介します。

総合的な学習等　九三八万円

平成十四年度から始まる新学習指導要領の移行措置として、今年からはじめられ、子どもたちの「いきる力」を育むことがねらいです。各学校の創意工夫による柔軟な教育活動で特色ある学校づくりを推進します。

海外交流・国際理解教育　二、〇二三万円

中学校では英国ウエストミンスター市立学校との相互交流、小学校では近隣の外国大学校などとの交流を通して国際理解教育を推進します。

コンピュータ教育　一億四、六八七万円

高度情報通信化社会に対応できる子どもの育成のため、インターネットなど積極的に取り入れた授業を充実させます。

自然体験・移動教室・夏季施設　六、三五三万円

小学校は嬬恋・箱根・保田で、中学校は軽井沢・保田で実施する宿泊を伴う行事の経費です。

中学校教育検討会　一四九万円

中間報告で提示された多様な特色ある中学校を具現化するための課題について検討し、最終結果を報告します。

教育相談支援　二、三七五万円

中学生の悩みや、心配事などをスクールカウンセラーや心の教室相談員と気軽に相談や活動をすることで、心にゆとりをつくります。教育研究所では子どもの保護者にもきめ細かな相談を行います。

校舎・園舎の整備　四億九、七〇六万円

麹町小学校・幼稚園の旧校舎解体や新校舎建設工事にかかる経費です。

施設改修　二億四、二七三万円

子どもたちの学習環境の充実のため、校舎・園舎および校外施設の改修に要する経費です。

備品整備　七六九万円

子どもたちの学習が効率よく行われるため、必要な備品を購入する経費です。

教育委員会からのお知らせ

平成12年度教科書展示会
○法定展示会
平成12年6月23日（金）～7月12日（水）
開館午前9時～午後5時　土・日休館
［会　場］千代田区立教育研究所（神田さくら館）
7階教科書センター
（神田まちかど図書館からお入り下さい）

－ 中学校教育検討会 －
「学校関係者との意見交換会」「これからの中学校教育についての意見を聴く会」が開催されました。

中学校教育検討会では中学校教育に関する幅広いご意見を伺うため、本年２月２５日（金）に学校関係者の皆さんとの意見交換会を実施しました。また、４月８日（土）には「これからの中学校教育についての意見を聴く会」を開催し、保護者や区民の方々からご意見を伺いました。当日、参加された方から寄せられたご意見の一部を紹介します。なお、皆さんから伺いました貴重なご意見は、最終報告検討の際の参考にさせていただきます。

「学校関係者との意見交換会」

○中等教育は生徒自らが生きる道を見つけるのを支援することを目的としている。一定期間ゆとりをもって、じっくりと多くの選択肢の中から自分の歩む道を自分の責任で選べるような中高一貫教育が必要だと思う。
○特色のある中学校をつくるなら、通学区域を弾力化すべきだと思う。
○中高一貫教育については、きちんとしたポリシーが必要だ。6年間で本当に何を教えるかということを見据えて考えて欲しい。
○学校の適正規模は必要である。家庭ではできない集団生活での知恵を教えるのも学校の役割である。優しさとか思いやりの心を集団生活の中で気づかせることも重要だ。

「これからの中学校教育についての意見を聴く会」

○幼・小・中の連携を強化する。子どもたちの問題点を幼・小・中のつながりから把握すれば、色々な問題が解決できるのではないか。
○中高一貫教育は私立の真似でなく、公立でしか実現できない、のびのびとした教育を千代田区で実現してほしい。
○先日のアンケート調査で、小学校６年生と保護者の半数が私立中学校に進学したいという結果を目にしたとき非常にショックだった。子どもたちが行きたいと思うような学校づくりを考えてほしい。
○自分で自発的に考えて学んでいく姿勢がこれからは大事だ。自分の興味のあるものについて学んでいこうとする芽を育てるような教育が必要なのではないか。
○千代田区立中学校がどのような教育をしているか色々な場でＰＲしてほしい。

中学校教育検討会活動経過

第１回平成10年９月10日（木）
・「これからの中学校に望むこと」
第２回平成10年11月16日（月）
・「千代田区の中学生は今」
第３回平成11年１月25日（月）
・新学習指導要領における学習内容と特色ある中学校
・学校経営・運営
・教育の規制緩和
第４回平成11年４月21日（水）
・中高一貫教育の意義と可能性
・小中、中高の連携
・「中間報告」骨子（案）について
第５回平成11年６月８日（火）
・「中間報告」概要（案）について
第６回平成11年７月13日（火）
・「中間報告」（案）について
平成11年７月29日（木）「中間報告」提出
第７回平成11年９月17日（金）
・アンケート調査について
平成11年10月20日（水）～26日（火）
・アンケート調査実施
第８回平成12年１月19日（水）
・アンケート調査の結果及び分析
第９回平成12年２月25日（金）
・学校関係者との意見交換会
第10回平成12年３月28日（火）
・中高一貫教育検討専門部会より報告
第11回平成12年４月８日（土）
・「これからの中学校教育についての意見を聴く会」
第12回平成12年５月11日（木）
「最終報告」骨子（案）について
第13回平成12年６月
「最終報告」概要（案）について
第14回平成12年７月
「最終報告」（案）内容の検討
第15回平成12年８月
「最終報告」（案）について
「中学校教育検討会報告書」の提出

給食のあり方検討会報告書について

千代田区教育委員会では、各小・中学校保護者代表をはじめ、学校関係者からなる「給食のあり方検討会」を平成十一年六月に設置し、これからの小・中学校の給食のあり方について調査・検討をしていただきました。6回の検討を経て報告書としてまとまりましたので、その要旨を紹介します。

1. 子どもたちの食事の現状について

物質的に豊かになった反面、拒食や過食など食に関する問題も起きている。また、子どもの身体の成長や活動に必要な栄養素が十分に摂取されていなかったり、生活様式の多様化に伴う子どもたちの個食化の傾向、不規則な生活リズムから朝食抜きでの登校などにより、体調を崩したり、生活習慣病の低年齢化が進むなど食に起因する問題が現れている。

2. 学校給食の改善すべき点

①給食は、栄養摂取だけでなく、マナーやしつけ・社会性や協調性を身につけるなどさまざまな機能を求められている。
②同一献立のため食べるものを自分で選ぶことができない。
③昼休みの時間帯にゆとりがない。
のような課題があげられました。

3. 学校給食の今後の方向について

①保健体育・家庭科などの各教科、道徳、特別活動、そして総合的学習の時間など教育活動全体を通して、健康教育をすすめ、その一環として望ましい食事のあり方や自分で食事を選び自己の健康管理ができる能力を育てる。
②学校給食は、なごやかな雰囲気の中でふれあいや交流を深めることができる絶好の機会である。その中で、相手に不快な気持ちをおこさせない基本的な作法や、話法などを体得できるよう、食事を通して好ましい人間関係を育成する。

4. 未実施校の給食実施について

ミルク給食実施中の3中学校においては、保護者の負担を考えると早期の完全実施が望まれるところです。緊急的な措置として次の三点があげられました。
①当面、校内で安全性の高い弁当、パン等の販売を実施するなどの対応を検討する。この際に校内売店の活用も含めて考える必要がある。
②すぐに給食施設を設置することが難しい場合でも、近隣の給食施設を活用するか、どうしても、困難な場合には、給食センターを利用すべきと言う意見も出された。なお、給食は、自校方式が望ましく、給食センター方式をとることはやめてほしいという意見も出された。
③今後、校舎建て替え時に再度実施方法などについて協議し、給食の施設設備の充実を図る。

5. 最後に

食は、子どもたちが心身ともに健康に成長・生活していくために非常に大切なものです。現在は多くの食物が、簡単に手に入る反面、食品の組み合わせや取り方に問題があり、健康を害する例も見られます。
日々の栄養管理、食事の取り方やしつけは家庭生活の中で子どもたちが身につけていくものだが、学校においても教育活動全体を通して健康教育に力を入れ、自分にとって必要な食品を選ぶ力を持てるようにすることや、好ましい人間関係が育成されることがもとめられている。

区教育委員会は本検討会の検討結果をふまえ、より良い学校給食を目指してまいります。なお、検討会の報告書は各小・中学校に配布してありますので、詳しくお知りになりたい方は各校にお問い合せ下さい。

今川中学校校舎の増改修・解体について

「倒壊の危険性が高い」と耐震診断の判定結果が出た今川中学校校舎について、関係者の皆さまと検討を進めてまいりましたが、

①体育館棟を増改修し、2学期から授業を開始する。

②校舎棟は解体し、危険性を回避する。

以上が区の方針として決定し、5月10日に開催された千代田区議会臨時会において、工事経費の補正予算が議決されました。

今後、工事説明会などを経て、6月中旬から工事を行う予定です。

工事期間中は周辺の皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

また、仮校舎として内神田社会教育会館を8月末まで使用する予定です。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、今しばらくご協力をお願します。

工事の概要

・校舎棟、煙突を解体する。

・体育館棟のピロティ部分に職員室などを増築する。

・特別教室の一部を普通教室に改修する。

・周囲の塀の一部を撤去し、ネットフェンスを設置する。

麹町小学校・幼稚園 仮校舎で授業を開始しました

麹町小学校・幼稚園は校舎改築のため、4月から旧永田町小学校の仮校舎に移転しました。移転にあたり、通園・通学の距離が長くなるため「風ぐるま」事業を活用して、幼稚園児及び小学生一年生の希望者を対象とした送迎バスを運行しています。

送迎バスの様子

麹町小学校・幼稚園の新しい校舎となります「麹町二丁目公共施設」は平成15年3月には完成する予定です。

学校

大きく育って

スタート！‥花小金井学園でスポーツテスト（番町小）

宿舎の庭（箱根高原学校）で開校式（お茶の水小）

嬬恋自然体験交流教室

胸はずむ軽井沢少年自然の家での生活（練成中）

行事

区の指定文化財

千代田区教育委員会では文化財保護審議会の答申を受け、有形文化財二件、有形民俗文化財一件を指定しました。

有形文化財

「紙本着色 仏涅槃図伯喬筆」一幅

所有：心法寺　麹町6－4－1

釈迦入滅の説話を描いた仏涅槃図（縦182.7cm、横158.4cm）は六枚の料紙で継がれていて、江戸時代享保・元文年間（一七一六～四一）ごろに制作されたと思われます。樹木や人・動物の描法は江戸狩野風であり、一部の鳥や虫の姿が写生的にとらえられているところが特に注目されます。

江戸（東京）で造られた仏画の大作として、区内の名刹に古くから伝わった資料として、美術的にも、区にとって歴史的価値の高い資料です。心法寺ではこれを毎年二月～三月ころ、本堂に掛けて公開しています。

新たに3件を指定

有形文化財

「紀尾井町遺跡出土紀州藩邸関係資料」78点

所有：千代田区（四番町歴史民族資料館）

陶器皿

三葉葵鬼瓦

本件は千代田区教育委員会による「紀尾井町遺跡」の発掘調査で出土したものです。調査地点（紀尾井町3番地）には、紀州徳川家の上屋敷（麹町邸）が明暦三（一六五七）年から幕末まで長期間置かれており、出土した多数の遺物の中から、陶磁器類六四点・瓦類五点・金属製品九点合計七八点が選ばれました。

これらは紀州徳川家の麹町邸の貴重な資料であるとともに、広く江戸時代の歴史を考える上でも重要な資料です。

この発掘は、本区が初めて開発行為に対して実施した最大規模の発掘調査事業で記念碑的な意味があります。

有形民俗文化財

「狛犬」一対

所有：日枝神社　永田町2－10－5

現在、魔除けなどで神社に鎮座する狛犬と呼ばれている動物は、当初は頭に角を持つ「狛犬」、頭に宝珠を持つ「獅子」という別種の動物で一対とされていました。江戸時代の頃から、「角」や「宝珠」は忘れられてきて、現在の狛犬には「角」や「宝珠」を持つものはほとんどどありません。

日枝神社境内・山王稲荷神社、及び八坂神社・猿田彦神社（合祀）両者拝殿の奥、本殿の前に置かれている一対の石製狛犬は、文政三（一八二〇）年に神田神社境内の南伝馬町天王社に奉納され、明治三十四（一九〇一）年に日枝神社に移設されたものです。

碑文からこの狛犬は江戸時代に製作されたもので、神社周辺に住む人々や南伝馬町の人々との関わりなど、江戸時代の信仰と暮らしを考える上で貴重な資料です。

千代田図書館からお知らせ

○特別整理で休館します

期間　6月15日（木）～23日（金）まで

○本のリサイクル

区内在住・在勤・在学の方を対象に、使われなくなった本を一人10冊まで無料で差し上げます。

日時　6月22日（木）
午前9時30分～午後4時30分まで

場所　千代田図書館3階閲覧室

※手提げ袋をご持参ください。

きょういく 随想

最近、少年犯罪の多発が社会問題となり「少年法の見直し」など、事の重大さに各方面で対策や検討など重ねられております。

以前から子どもを育てることの難しさ、親の役割の重さは語られておりますが、先日、NHKテレビ番組の中で「何故、少年は問題を起こすのか」をテーマに、実際に問題を起こしてしまった少年たちの関係者が語っていました。その多くは「親は世間体ばかり気にして自分を理解してくれない。ふりむいて自分を見て、話を聞いて欲しい。」と訴えているそうです。私はその訴えの中の彼らの身勝手さ、甘さを容認することは出来ませんが、何故か反省せずにはいられない気持ちになりました。

私たちは自分の子どもを愛する余り、自分の世界で、自分の都合の良い愛で、子どもをしばりつけてはいないでしょうか。子どもの気持ちになって子どもの言葉を、心を、真剣に受け止めたことがあったかと考えさせられます。子どもたちは、その親の愛に応えるために、家庭や学校で無理をしていつも良い子でいるためにがんばっているのではないでしょうか。

勿論、がんばりやがまんは子どもの成長に不可欠なことですが、いつも良い子でいるためのがんばりを子どもに求めすぎると、それに反して、言葉も心も読めなくなってしまうのではないでしょうか。

お母さんは宝もの

曽根史子

今春、本区立小学校に三六三名の新一年生を迎えました。真新しいランドセルを背に元気に通学する姿はほほえましく、たのもしくさえ思え、エールを送らずにはいられません。

その一年生の話を聞きました。とても嬉しいことなのです。宝ものを入れるポケットに、入れる宝ものを作る時間がありました。子どもたちはテレビやアニメのヒーロー・ヒロインを、そしてママも一緒にいれておいた。と話してくれました。

ママが宝もの、子どもたちにとってはいつまでもママ、お母さんが宝ものなのです。がんばりましょう。お母さん！

価値観が多様化する中で、子どもたちを社会の中の一人の人間として育てることは大変難しいことですが、甘やかすことと愛することの違いの重要さを考え、子どもたちの成長と努力する姿を、急がずに子どもの気持ちになって見守ることが私たち親の大切な役割だと思います。

千代田区教育委員長　そね　ふみこ

きょういく 随想

編集後記

子どもたちが入学・進級して2ヵ月が過ぎました。新しい環境にも慣れ、友だちも増えて、充実した日々を過ごしていることと思います。

さて、今年の高額納税者、いわゆる長者番付が発表されましたが「五体不満足」の著者、乙武洋匡さんの「税金は子どもたちが幸せになれるような使い方をして欲しい」との新聞記事のコメントが印象的でした。

今号では、平成十二年度教育予算についてお伝えしました。皆さんからの税金で成りたったものですので、子どもたちの教育のため、有効かつ効率的に使ってまいります。

前号で紹介しました番町小学校・幼稚園の校・園歌の作曲者である中田喜直先生が逝去されました。中田先生が作曲された「めだかの学校」など数多くの叙情味豊かな童謡は、これからもずっと歌い継がれていくことと思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

教育広報「かけはし」第四十四号
平成12年5月31日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102-8688 千代田区九段南1-6-11
☎(3264)0151 内3114